

MOre [もっと] Australia [オーストラリア]

# モア

オーストラリア・レポート



## 経済の一端を担う教育サービス

「二速経済」。低成長の先進国と高成長の新興国に世界経済の成長速度が二分していることを表す言葉として昨年G20で使用されました。最近では豪経済に対しても、早いスピードで成長する資源関連セクターと、それ以外の非資源関連セクターの2つを表す言葉として使用されています。

しかし経済を支えるという点では、「スピードが遅い」産業も重要だと思われます。その点で、2010年度の豪輸出の内、第1位の金属鉱物、第2位の石炭、第3位の観光に続き、第4位に教育サービスがあるのは注目されると思われます。約180億豪ドルを輸出しており、豪経済に対して着実に寄与していることがわかります。

## 教育は将来への先行投資

教育サービスは、現在の経済を支えているだけではありません。豪政府が進めている協同研究センター (Cooperative Research Centre) など、その研究や技術が、例えば新たな低コスト燃料の開発や病気の治療に応用されるなど、将来的に様々な産業・企業などの原動力・競争力に繋がっていきます。

教育が成熟しグローバル化が進んでいるオーストラリアは、その教育への先行投資が将来花開き、国や経済を支えることが期待できると思われます。

## 今月のテーマ

# もう1つの資源 教育サービス

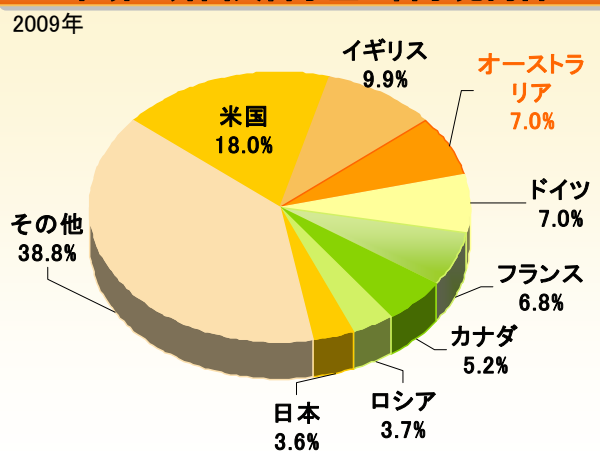
1  
月号

## 教育先進国

2012年1月、日本では東京大学が現行の春入学(4月入学)を廃止し、世界全体の約7割で採用されている秋入学(9月入学)への移行を検討しているとのニュースが報道されました。その理由の1つとして、入学時期を国際標準に合わせることによって留学を促進し、大学のグローバル化を図ることが挙げられました。

皆さんも良くご存知のように、オーストラリアは観光はもちろん留学先としても人気が高く、2009年の世界の留学生(高等教育)全体では、米国、英国に続いて多くの外国人留学生が同国で学んでおり、教育のグローバル化が進んだ国と言えます。同時期、日本で学ぶ外国人留学生は全体の3.6%、オーストラリアの半分程度となっています。

## 世界の外国人留学生の留学先割合



出所: オーストラリア貿易促進庁 ベンチマークレポート2011

## 〈ひとつづつ豆知識〉 世界一住みやすい都市 英誌 エコノミスト調査部門まとめ

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1 バンクーバー(カナダ)  | 6 ヘルシンキ(フィンランド)     |
| 2 メルボルン(豪)     | 7 シドニー(豪)           |
| 3 ウィーン(オーストリア) | 8 パース(豪)            |
| 4 トロント(カナダ)    | 9 アデレード(豪)          |
| 5 カルガリー(カナダ)   | 10 オークランド(ニュージーランド) |

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号  
加入協会 社団法人投資信託協会、  
社団法人日本証券投資顧問業協会